

## 介護ロボット導入計画書

法人名 ( 社会福祉法人志楽園福祉会 )  
 事業所名 ( 特別養護老人ホーム猿投の楽園 )  
 サービス種別 ( 地域密着型介護老人福祉施設 )

適用を受けようとする補助率		3/4 ・ 1/2	
介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
入浴支援		wells リフトキャリー	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和3年12月1日	1台	令和3年12月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

**【事業概要及び導入スケジュール】**

浴室洗い場から浴槽への入浴時等での移乗介護に介護ロボットを活用する事で、介護職員の腰痛予防と入居者と職員双方の身体的負担の軽減を図る。

(導入スケジュール)

補助金事前申請→補助金交付申請→補助金交付決定→購入(決定)→納品→試用前研修→使用

**【倫理面への配慮】**

- ・機器を使用する目的、機器使用方法の説明を行ったうえで、本人及びご家族の同意を得る。
- ・動作前に声掛けをし、コミュニケーションをとり、安心感をもって介護を受けて頂くように配慮する。

**【介護ロボットの導入により達成すべき目標】 (3年間目処)**

(介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等)

- ・職員や入居者双方にとって介護ロボットを安全で使いやすい機器として浸透させる。
- ・機器の使いこなし、複数職員での移乗介助を減らすことで、入浴介助以外のケアの充実を図る。
- ・介護職員の入浴介助時の腰痛予防及び腰痛が原因での離職の防止。

**【介護ロボットの導入により期待される効果等】**

- ・現状、二人体制が必要な方に対して、機器を活用する事で、一人での介助が可能となる。
- ・入浴介助時の身体的負担や事故のリスク軽減。
- ・介護ロボットの活用により職員の負担軽減や他施設との差別化を図ることが出来、離職率の軽減及び採用への効果が期待される。

(注)・導入する介護ロボットごとに作成すること。

※これより下は、補助率「3/4」の適用を受けようとする場合のみ記入すること（「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること）

従前の介護職員等の人員体制	介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制
1 : 1.43	1 : 1.54
見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトを活用した人員体制の効率化に関する取組（具体的に書く）	
<p>これまで手書きでの介護記録作成を行ってきた。その中には重複項目や、記述式、必要項目が抜けていたり介護記録にかかる時間が13%~20%を要しており、且つその有効活用が出来ていなかった。現在介護記録ソフト導入に向け、検討段階に入っており令和3年度中の導入を目指しています。</p>	
利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組	
<p><b>【利用者のケアの質の向上】</b> 介護記録ソフトを導入する事で、利用者のバイタル、水分摂取量、排泄状況、服薬管理等の日々管理、週単位管理、月管理、年単位でのデータ管理が容易となり利用者の体調管理に役立てる。</p> <p><b>【職員の負担軽減】</b> 入力式になるため、これまで休憩時間や、勤務を延長しての記録の記入を行ってきたが、支援後又は確認後直ぐに入力する事で休憩時間の確保や勤務時間の延長軽減に役立てる。</p>	
これらの取組により期待される効果等	
<p>利用者の体調管理が行われることで、容態の悪化も減少に繋がり、職員の負担軽減にも繋がる。負担軽減が、更なる質の向上に繋がる。</p>	

## 介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人昭徳会)  
 事業所名 (特別養護老人ホーム安立荘)  
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

適用を受けようとする補助率		3 / 4		1 / 2
介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
入浴支援		リフト付シャワーキャリー (LS-500)		
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)	
令和3年10月31日	2式	令和3年10月31日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで	
<b>【事業概要及び導入スケジュール】</b>				
<p>一般浴槽の更新に合わせて当該浴槽に設置可能なリフトを導入し、浴槽への入退浴が困難な方などへの支援として、入居者及び職員の負担軽減を図りつつ、安心・安全で快適な入浴支援を目的とする。</p> <p>導入スケジュール          令和3年9月注文 (予定)          令和3年10月導入・運用開始 (予定)</p>				
<b>【倫理面への配慮】</b>				
<p>当該製品を使用する入居者に対して、使用前に当該製品の説明を十分に行い、また、使用する職員は機器の取扱いを十分理解したうえで正しい使用法を徹底する。</p>				
<b>【介護ロボットの導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</b> (介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者 (利用者) の満足度等)				
<ul style="list-style-type: none"> <li>入居者の転倒・転落事故防止の強化</li> <li>介護職員等の身体的・精神的負担軽減</li> </ul>				
<b>【介護ロボットの導入により期待される効果等】</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>一般浴を利用されなかった入居者が、安全に簡易に入浴可能となる。</li> <li>一般浴槽への入退浴介助において、介助者を2名から1名へ軽減でき、腰痛予防対策を講じるなど負担軽減が図れる。</li> </ul>				

介護ロボット導入計画書

法人名 ( 有限会社ケアサポート )  
 事業所名 ( キリン デイサービス 愛西 )  
 サービス種別 ( 通所介護 )

適用を受けようとする補助率		3 / 4 ・ <del>2</del>	
介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
入浴装置		株式会社いうら リフト付シャワーキャリー	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和3年10月28日	1台	令和3年10月28日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<b>【事業概要及び導入スケジュール】</b>			
(概要) 浴槽への入浴時等での移乗介護に介護ロボットを活用することにより、介護職員の腰痛予防とご利用者様と双方の身体的負担の軽減を図る。			
(導入スケジュール) 補助金交付申請→補助金交付決定→購入(決定)→納品(受注後順次)→使用前研修→使用			
<b>【倫理面への配慮】</b>			
ご利用者様への不安感やリフト移乗時の転倒リスクを減らすように機器の操作に十分注意をし、動作前にお声掛けをし、配慮して入浴を行うようにする。			
<b>【介護ロボットの導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</b> (介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務効率向上による業務負担軽減とサービスの質の向上</li> <li>・介護職員の入浴介助時の腰痛予防及び腰痛による離職率の低減を図る。</li> </ul>			
<b>【介護ロボットの導入により期待される効果等】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・移乗回数が軽減することにより「転倒転落」「入浴時の溺水」などの事故リスク軽減を図ることができる。</li> <li>・介護ロボットの活用により職員の介護負担軽減を図ることができ、離職率の低減及び採用への効果が期待できる。</li> </ul>			

## 介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人和敬会)

事業所名 (グループホームなごみの郷)

サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

適用を受けようとする補助率		3 / 4 ・ <u>1 / 2</u>	
介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
入浴支援		入浴支援リフト バスアシスト	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和3年12月1日	2台	令和3年12月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 【事業概要及び導入スケジュール】

## 【事業概要】

グループホーム入居者においても、入居者の重度化が進んでおり、浴槽を跨ぐ動作が難しい方が増加している。また、その為に介助者側の負担も大きなものとなっている。そこで、特別な工事が不要で、現在使用する浴槽に設置可能なバスアシストを導入することで、浴槽を跨ぎ湯船につかるまでの一連の動作を1人の介助者で負担を軽減して行うことができることから導入を計画したい。

## 【導入スケジュール】

交付決定後(12月頃)速やかに導入したい。使用前には、導入業者から細かな使用のためのレクチャーを受け、安全に使用していきたい。

## 【倫理面への配慮】

浴槽を跨ぐことが難しい入居者に対し、介助者2人で介助を行っていたところを、1人での介助が可能となる。入浴という極めてプライバシーへの配慮が必要な場面においては、当然1人でも少ない人数で介助されることが望ましい。また、女性介助者1人でも介助が可能となるため、同性介助を行うことへの配慮も可能となる。このことから、バスアシストの導入により、倫理面においても、これまで以上の配慮が可能となる。

## 【介護ロボットの導入により達成すべき目標】 (3年間目処)

(介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等)

- ・入浴介助にあたる介助者の人数の減少(2人介助から1人介助へ)。
- ・入浴介助にあたる介助者の減少に伴い、他の業務へ人員配置できることでの入浴介助以外の業務の間接的な負担軽減。
- ・浴槽を跨ぐ際の介助負担の軽減。
- ・入居者が「入浴することが大変だ」という思いを持つことなく入浴が可能となる。

【介護ロボットの導入により期待される効果等】

- ・浴槽を跨ぐ動作への介助負担が軽減するため、介助者側の身体的負担が大きく改善する効果が期待できる。
- ・入浴介助に必要な人員数が削減できるため、削減分を他の業務に充てることができ、間接的に他の業務の介助者の負担を軽減させることが期待できる。

(注)・導入する介護ロボットごとに作成すること。

※これより下は、補助率「3/4」の適用を受けようとする場合のみ記入すること（「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること）

従前の介護職員等の人員体制	介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制
業務の人員体制 ：	業務の人員体制 ：
見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトを活用した人員体制の効率化に関する取組（具体的に書く）	
利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組	
これらの取組により期待される効果等	

## 介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 元気寿会 )  
 事業所名 (特別養護老人ホーム 葉栗の郷)  
 サービス種別 (介護老人福祉施設 )

適用を受けようとする補助率		3 / 4		1 / 2	
介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名			
入浴支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>・リフト付きシャワーキャリー「LS-500」</li> <li>・専用レール「LTB-100」</li> </ul>			
導入時期 (予定)	導入台 (セット) 数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)		
令和3年8月25日	各1台	令和3年8月25日	令和 年 月 日から	令和 年 月 日まで	
【事業概要及び導入スケジュール】					
【事業概要】 入浴介助時の介護者の負担軽減と腰痛予防を図るとともに、入居者に安心・安全な入浴介助の提供を目指す。					
【導入スケジュール】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・購入予定日：令和3年8月25日（水）、導入予定時期：令和3年8月25日（水）</li> <li>・介護ロボット導入後の研修会：令和3年8月26日（木）を予定</li> </ul>					
【倫理面への配慮】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者に十分声掛けを行いながら昇降動作などの説明を行い、入浴時に不安を与えないように配慮する。</li> <li>・入居者一人ひとりに合わせた個別ケアを実現する。</li> </ul>					
【介護ロボットの導入により達成すべき目標】（3年間目処） （介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等） <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、個別浴槽を使って毎日約10人に入浴サービスを提供しており、入居者一人あたり約40分入浴介助にかかっている。その負担軽減と効率化を図る為、介護ロボットを導入し、入居者一人あたり約30分の入浴介助を目標に効率化を図る。</li> <li>・入浴介助の効率化により入居者への個別ケアに時間を充てることができ、ヒヤリハットの低減に繋がる。</li> </ul>					
【介護ロボットの導入により期待される効果等】 <p>リフト付きシャワーキャリーを導入することにより、今まで個別浴槽をまたげない入居者を介護者が二人以上で抱え上げやまたぎなどの介助をしていたが、一人介助が可能となり、介護者の人手不足の解消と負担軽減・腰痛予防に繋がる。また、入居者にとっては、一度キャリーに座ったら移乗することなく安心安全に入浴することができる。</p>					

(注)・導入する介護ロボットごとに作成すること。

※これより下は、補助率「3/4」の適用を受けようとする場合のみ記入すること（「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること）

従前の介護職員等の人員体制	介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制
入居者の方が湯船に入られる際、個浴に設置するシャワーキャリーがないと2人で介助する必要がある。	シャワーキャリーを導入することで、2人→1人で対応することが出来る。
見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトを活用した人員体制の効率化に関する取組（具体的に書く）	
フットセンサーの活用により、今までより転倒のリスクが高い入居者に対して、訪室回数が1時間に1回程度の訪室だったのが、2時間やフットセンサーが鳴った際の訪室に変わり、訪室回数が半減以下に削減できる。また、ユニットの職員だけでなく、多職種の職員や事務員が見守りを行っていた状況からユニット職員だけで対応が可能となる。職員がその空いた時間で入居者の要望や希望に沿った支援ができる。	
利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組	
個別浴槽を使って毎日約10人に入浴サービスを提供しており、入居者一人あたり約40分入浴介助にかかっている。その負担軽減と効率化を図る為、介護ロボットを導入し、入居者一人あたり約30分の入浴介助を目標に効率化を図る。安心・安全に介助ができること、シャワーキャリー導入につき職員の負担軽減にも繋がる。	
これらの取組により期待される効果等	
シャワーキャリーの導入で、入居者が安心安全に介護を受けることが出来る、また職員の負担軽減にも繋がり、効率化を進めて行く中で、個別ケアに時間を充てることができ、入居者へより細かなケアを提供でき、サービスの質の向上が期待できる。	



## 介護ロボット導入計画書

法人名 ( 医療法人 愛礼会 )  
 事業所名 ( 団欒の家 いわくら )  
 サービス種別 ( 認知症対応型通所介護 )

適用を受けようとする補助率		3 / 4 ・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">1 / 2</span>	
介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
入浴支援		Wells リフトキャリー	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和3年10月1日	1台	令和3年9月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<b>【事業概要及び導入スケジュール】</b>			
入浴時に介護ロボットを活用することで、移乗介助における介護職員の腰痛予防と利用者様の身体的負担の軽減を図る。  (導入スケジュール) 補助金交付申請→補助金交付決定→購入→納品→使用前研修→使用開始			
<b>【倫理面への配慮】</b>			
機器への恐怖心や不安感などに配慮するために、一つ一つの動作前に声掛けしコミュニケーションをとることで安心感を持って介護を受けてもらえるよう配慮する			
<b>【介護ロボットの導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</b>			
(介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等) ・ 職員の入浴介助時の腰痛を予防し離職率を低減させる。 ・ 機器を使い効率的な介助を行うことで入浴介助以外のケアの充実を図る。			
<b>【介護ロボットの導入により期待される効果等】</b>			
・ 職員の入浴介助時の負担軽減 ・ 利用者の入浴時の負担軽減 ・ 利用者の満足度向上 ・ 入浴介助時の介護人員の効率化			

(注) ・ 導入する介護ロボットごとに作成すること。

※これより下は、補助率「3 / 4」の適用を受けようとする場合のみ記入すること (「介護サービ

## 介護ロボット導入計画書

法人名 (エーエスケアサービス株式会社)  
 事業所名 (介護付き有料老人ホームさくらん大府)  
 サービス種別 (特定施設入居者生活介護)

適用を受けようとする補助率		3/4	
介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
入浴支援		wells リフトキャリー WLC-100	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和3年10月15日	1	令和 年 月 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】			
<p>浴室洗い場から浴槽への入浴時等での移乗介護に介護ロボットを活用する事で、介護職員の腰痛予防と入居者と職員双方の身体的負担の軽減を図る。</p> <p>(導入スケジュール)          補助金交付申請→補助金交付決定→購入(決定)→納品(受注後順次)→使用前研修→使用</p>			
【倫理面への配慮】			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・機器を使用する目的、機器使用方法の説明を行った上で、本人及び家族の同意を得る。</li> <li>・動作前に声掛けをし、コミュニケーションをとり、安心感をもって介護を受けて頂くよう配慮する。</li> </ul>			
【介護ロボットの導入により達成すべき目標】 (3年間目処)			
(介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員や入居者双方にとって介護ロボットを安全で使いやすい機器として浸透させる。</li> <li>・機器導入により、複数職員での移乗介助が改善する。浴室までの移動時間が短縮で生まれた余裕をケア全体の充実につなげる。</li> <li>・介護職員の入浴介助時の腰痛予防及腰痛による離職の低減を図る。</li> </ul>			
【介護ロボットの導入により期待される効果等】			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状、二人介助が必要な方に対して、機器を活用することで、一人での介助が可能となる。</li> <li>・入浴介助時の身体的負担や事故のリスクの軽減。</li> <li>・介護ロボットの活用により職員の負担軽減や他施設との差別化を図ることができ、離職率の低減が期待される</li> </ul>			

(注)・導入する介護ロボットごとに作成すること。

※これより下は、補助率「3/4」の適用を受けようとする場合のみ記入すること（「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること）

従前の介護職員等の人員体制	介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制
2.3 : 1	2.1 : 1
見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトを活用した人員体制の効率化に関する取組（具体的に書く）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在までに全居室見守りシステムを導入済みであり、導入後、居室での転倒は減少している。また、端末による状態把握が出来ることで、スタッフ（特に夜勤スタッフ）の負担軽減につながっている。今後は、インカムの導入を検討しており、誘導を必要とする業務（入浴時・レクリエーションなど）をスムーズに行えるよう改善を図る予定。</li> <li>・移乗機器の導入により、2階に入居する利用者のうち一般浴槽を使えない状態の方（約15名：R3.6月現在）への入浴介助時、1階特浴室までの移動時間を短縮し、またインカムなどの通信機器の導入により職員連携の効率化を図れることが出来る。こうして出来た時間的な余裕により、職員的大幅な増員がなくても、職員の業務負担軽減を図ると同時に入浴以外のケアの質の向上を図ることが出来る。</li> </ul>	
利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組	
<p>1年目：腰痛に悩む職員の状況把握。入浴ケアに係る職員・利用者双方の負担を軽減できるよう事業所内でスタッフに使用方法の説明後、業務マニュアルを見直し移乗機器を利用する。</p> <p>2年目：前年実績を踏まえた検証（腰痛などに悩む職員の状況把握・機器導入後の効果）し、業務マニュアルの見直しを行うことで、より効果的な活用を図る。 インカムの試用を行い移乗機器と合わせ導入効果を検証する。</p> <p>3年目：入居者の身体的重度化に対応できるよう業務マニュアルを見直し、効果的な活用を図る。また、腰痛などで悩む職員の把握、また、身体的負担を理由にした退職者の状況を検証し機器の活用方法及び増設等の検討を行う。</p>	
これらの取組により期待される効果等	
<p>目標：令和3年からの3年間で慢性的に腰痛に悩む職員を50%減少するとともに、利用者の満足度を向上させる。</p> <p>効果：身体的な負担を理由とした離職者を0にし、平均勤続年数を3年以上にする。</p>	

## 介護ロボット導入計画書

法人名 (株式会社イズミ)  
 事業所名 (介護付き有料老人ホーム八幡の郷)  
 サービス種別 ((介護予防) 特定施設入居者生活介護)

適用を受けようとする補助率		3 / 4	
介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
入浴支援		Wells リフトキャリーWLC-100	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和3年12月1日	1台	令和3年12月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 【事業概要及び導入スケジュール】

浴室内(脱衣室、洗い場、浴槽)での移乗介護、入浴介助時に介護ロボットを活用する事で、介護職員の職業病である腰痛の予防と入居者様職員双方の身体的負担の軽減を図り、安心安全な入浴を実現する。

## 導入スケジュール

事前協議書提出⇒補助金交付申請⇒補助金交付決定⇒機器発注⇒納品⇒入浴業務担当の職員に対する使用方法の説明会、入浴介助に関するカンファレンス⇒使用開始

## 【倫理面への配慮】

- ・機器を使用する目的、機器の性能機能、使用方法などの説明を行い、本人及びご家族の同意を得る。
- ・動作前に声掛けを行い、コミュニケーションを十分に取り入居者様に安心安全な入浴を実現する。
- ・入居者様の尊厳を尊重した入浴介助を心掛ける。

## 【介護ロボットの導入により達成すべき目標】 (3年間目処)

(介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等)

- ・現状入浴介助時に二人介助が必要な入居者様への介助が機器の活用により、一人での介助が可能となり業務の効率化が図れる。入居者様一人当たりの介護職員2名⇒1名 入浴介助時間30%削減
- ・入浴介助時の身体的負担や事故のリスクの軽減が図れる。
- ・機器の活用により、介護職員の腰痛予防含む身体的負担の軽減が可能となり、離職率の低減、定着につなげることが出来る。

【介護ロボットの導入により期待される効果等】

- ・業務の効率化により、介護職員がより入居者様に寄り添った介護の時間が確保される。
- ・機器の活用により介護職員のマンパワーに頼る事の無い介助を行う事が可能となり、入居者様の身体的負担の軽減が図ることが出来る。
- ・介護職員の負担軽減により離職率の低下、定着率の向上が期待できる。

(注)・導入する介護ロボットごとに作成すること。

※これより下は、補助率「3/4」の適用を受けようとする場合のみ記入すること（「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること）

従前の介護職員等の人員体制	介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制
介護度の重い方に対して介護職員2名での入浴介助となっていた。2：1現状	介護職員1名での入浴介助が可能となる場合があり、人員体制の効率化が図れる。1.5：1程度
見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトを活用した人員体制の効率化に関する取組（具体的に書く）	
<p>今年度、介護記録の電子化を実現するために(株)フリービットEPARKヘルスケア社製「介護記録アプリ」の導入を進めている。入力用のiPadと「介護記録アプリ」の導入により、介護記録を現在の手書きからiPadに入力する事による電子化を実現して</p> <p>1) 入居者様の状況を的確に把握し職員同士がシステムの中で共有する事により入居者様に対するケアの質の向上を図る。</p> <p>2) 電子化により、現在よりも省力化効率化を行い、職員の精神的 肉体的ストレスの低減と人員体制の効率化により生まれた時間を入居者様へのサービスの質の向上に充てることが可能となり、結果的に入居者サービスが向上する。</p>	
利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の効率化により、介護職員がより入居者様に寄り添った介護を実行する時間が確保される。一人一人の入居者様へのケアの質の向上に取り組む。</li> <li>・機器の活用により、介護職員の腰痛予防含め身体的負担の軽減を図り、腰痛、ケガの防止、等のリスク低減が実現する。</li> <li>・身体的負担の軽減により職場環境の改善を行い、定着率の高い働きやすい職場環境を構築する。</li> </ul>	
これらの取組により期待される効果等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者様へのよりそばに寄り添った、質の高いケアが提供する時間が確保される。</li> <li>・入居者様の入浴時の事故防止、身体的精神的負担の軽減につながる。</li> <li>・介護職員の身体的精神的負担の低減により、業務上のストレスを減らすことが出来る。</li> <li>・負担の少ない職場環境の実現により、職員の定着率の向上に繋がる。</li> <li>・機器の活用による事故発生の防止、リスク低減を図ることが出来る。</li> </ul>	

介護ロボット導入計画書

法人名 (医療法人社団 同仁会)  
 事業所名 (ショートステイ ファミリエ)  
 サービス種別 (短期入所生活介護)

適用を受けようとする補助率		<del>3/4</del> ・ <del>1/2</del>	
介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
入浴支援		Well <sup>S</sup> リフトキャリー	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和3年8月1日	1台	令和3年8月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】			
介護職員の腰痛予防及び入所者様の安全な入浴を行うために導入する。 入所者様と介護職員双方の身体的負担の軽減を図る。  (導入スケジュール) 8月1日購入予定→使用前職員研修→使用開始			
【倫理面への配慮】			
入所者様への身体的負担の軽減と安心感を持って入浴していただく。 介護職員への腰痛予防			
【介護ロボットの導入により達成すべき目標】 (3年間目処)			
(介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等)			
①現在1日に6~8名の入浴介助を1人の介護職員により対応し、9時から開始するが介護度の高い利用者様が多く入浴終了が15時頃となっている。中には浴槽から出て来たくない方もいる中で介護ロボットの導入により浴槽への出入りが安全かつ時間通りに行える。 ②職員の介護負担(腰痛、体力消耗、ストレス、時間のあせりから来る事故)の軽減。 ③安全、体力消耗の減退により入浴への不安がなくなり利用者様が安心出来、入浴拒否ゼロを目指す。			
【介護ロボットの導入により期待される効果等】			
削減出来た時間を利用者様に費やす事が出来、現在よりより一層寄り添った温かいサービスの提供に繋がる。 傾聴時間、レクリエーション、気付き、信頼関係、自立支援等。 職員は気持ちや体力、時間に余裕が生まれそれが利用者様への心のこもった対応に繋がる。 このような事から利用者様への対応内容に対して職員の満足度が増し、離職率低減が期待される。 職員の温かいサービスにより利用者様のリピーター率増加も期待される。			

(注)・導入する介護ロボットごとに作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (株式会社 ミズノ)  
 事業所名 (ひだまりの郷 たけとよ)  
 サービス種別 (特定施設入居者生活介護)

適用を受けようとする補助率		3/4 ・ 1/2	
介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
入浴支援		バスリフト TOTO EWB100SR	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和3年9月1日	1	令和3年8月下旬	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【事業概要及び導入スケジュール】

利用者様の快適で安全な入浴と介護職員の腰痛予防の双方の双方の観点から導入を図りたい。  
 通知決定後、速やかに購入し、導入したい。

【倫理面への配慮】

- ・動作前に声掛けと動く作動範囲等を説明し、困惑しないように努める。

【介護ロボットの導入により達成すべき目標】 (3年間目処)

(介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等)

- ・介護職員の腰痛防止。職員の心理的負担の軽減。
- ・二人介助から一人介助への移行。
- ・体系や筋力によるできる職員できない職員の棲み分けがなくなる。
- ・利用者の安全で快適な入浴の実施。
- ・寝浴, 一般浴の2択の選択肢からリフト浴を入れた3択の選択肢を設ける。

【介護ロボットの導入により期待される効果等】

- ・移乗の回数や中腰での動作負担の軽減から介護職員の腰痛防止。心理的負担の解消。
- ・二人介助から一人介助への移行。統一した役割分担。  
コミュニケーションやレクリエーションスタッフへの配置調整ができる。
- ・入浴にかかるスタッフの固定人員の人員配置。介護者都合でなく一律した入浴方法の実施。  
「ムリ」「ムダ」「ムラ」の解消。
- ・利用者の安全で快適な入浴の実施。
- ・自宅に近い環境での入浴を可能とする。

(注)・導入する介護ロボットごとに作成すること。

※これより下は、補助率「3/4」の適用を受けようとする場合のみ記入すること（「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること）

従前の介護職員等の人員体制	介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制
2名介助。	1名介助。
見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトを活用した人員体制の効率化に関する取組（具体的に書く）	
<p>・入浴担当者が減ることで、誘導や事前のトイレ誘導するスタッフに回ることができ、入浴提供時間の短縮に繋がる。</p> <p>バスリフト使用予定者は身体的や体力的なことより臥床時間を短く考慮したいことからインカム使用にて</p> <p>① 脱衣場前など入浴待ち時間を解消する。着衣、脱衣の待ち時間を減らす。</p> <p>② 看護職員の処置のタイミングが無駄なく行う。</p>	
利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組	
<p>・入浴担当者が減ることで、誘導や事前のトイレ誘導するスタッフに回ることができ入浴提供時間の短縮に繋がる。</p> <p>・休憩時間の確保、人員配置を手厚くしたレクリエーションプログラムの実施やコミュニケーション機会の確保。</p>	
これらの取組により期待される効果等	
<p>・コミュニケーション機会の増加による顧客満足度の向上。</p> <p>・離職率の低下。</p>	



## 介護ロボット導入計画書

法人名 ( 社会福祉法人 相志会 )  
 事業所名 ( グループホームこころくぼり )  
 サービス種別 ( 認知症対応型共同生活介護 )

適用を受けようとする補助率		3 / 4		1 / 2
介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
リフトキャリア <sup>(入浴支援)</sup>		Wells リフトキャリア		
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)	
令和3年9月15日	1台	令和3年9月15日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで	
【事業概要及び導入スケジュール】				
<p>グループホームの開設後、入所者の方達が重度化していく一方、当該グループホームの個浴には、リフトの設置がなく、安全性に欠けることが想定されるようになった。</p> <p>この度、「介護ロボット導入支援事業」を利用させていただき、入所者の方達と介護従事者の安心と安全を確保することを想定しています。</p> <p>導入に関しては、9月中旬を想定しており、導入次第利用を開始していきます。</p>				
【倫理面への配慮】				
<p>ご家族に説明した上で使用します。</p> <p>プライバシーを守るよう配慮を行います。</p>				
【介護ロボットの導入により達成すべき目標】 (3年間目処)				
(介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等)				
<p>ご入所様がりフトキャリアの使用に慣れ、従業員も操作に慣れることにより、安心だけでなく、介護時間の短縮が図られる。</p> <p>ご入所様も介護従事者も直接の軽減が図られる。</p> <p>介護従事者及び入所様には満足していただけたと思います。</p>				
【介護ロボットの導入により期待される効果等】				
<p>ご入所様、介護従事者ともに安全が得られるため、安心して入浴出来るようになると思われる。衛生面を清潔に保つことにより、感染症予防の効果が得られ、食欲増進にも効果があると思われる。</p>				

(注)・導入する介護ロボットごとに作成すること。